

令和7年度 第1回 宇都宮市民大学運営協議会

- 【日時】 令和7年4月18日（金）
午前10時00分～午前11時00分
- 【場所】 人材かがやきセンター研修室
（宇都宮市中央生涯学習センター5階）

1 開会

2 議事

(1) 報告事項

- ・ 報告第1号

令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

- ・ 報告第2号

令和6年度宇都宮市民大学収支決算について

(2) 協議事項

- ・ 協議第1号

令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

- ・ 協議第2号

令和7年度宇都宮市民大学収支予算（案）について

3 その他

4 閉会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(令和6年9月1日～令和8年8月31日)

1	◎	丸山 純一	文星芸術大学 副学長
2	○	野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 常務理事兼本部事務局長兼栃木県総合文化センター館長
3	◇	赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・らマネージャー
4		荒井 隆	国立大学法人 宇都宮大学 社会共創・情報部社会共創・研究課長
5		薄羽 正明	学校法人 宇都宮美術学院 宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
6	◇	大谷 佳久	株式会社 栃木放送 報道制作局長
7		片桐 幸枝	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
8		齋藤 明彦	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
9		坪山 恵子	宇都宮短期大学音楽科 専任講師
10		目加田 友子	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ グループ「七福人」

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

宇都宮市民大学運営協議会事務局名簿

役職	氏名	備考
事務局長	塚田 真仁	教育委員会事務局 生涯学習課課長
事務局次長	横山 靖夫	生涯学習課課長補佐
事務局員	加藤 裕史	生涯学習課係長
〃	吉田 泰弘	生涯学習課総括
〃	鈴木 豪	生涯学習課社会教育主事
〃	吉澤 直輝	生涯学習課主任主事
〃	菊池 美咲	生涯学習課主任主事
〃	角田 佑樹	生涯学習課社会教育主事
〃	釜井 羽依	生涯学習課主事
〃	金田 陽南子	生涯学習課主事
〃	塚田 哲夫	生涯学習課会計年度任用職員
〃	松永 佳寿子	生涯学習課会計年度任用職員
〃	藤田 莉帆	生涯学習課会計年度任用職員

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

【1 郷土を愛する宇都宮学コース】

①うるわしき うつのみや
～再発見・宇都宮の美～

【開催期間】

11月7日～12月5日（全5回）

講師

フリーアナウンサー・ 栃木県文芸家協会 小説家 宇都宮美術館学芸課 下野新聞社 下野新聞社	・気象予報士 会長 主任学芸員 記者 記者	福嶋 福田 村崎 小堀 田井 永嶌	真理子 三男 なぎこ 修司 伎 理絵
--	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	79名	0.99倍	78名	68名（87%）	90%

感想

- ・宇都宮の魅力の中で話題的なものを含め様々な分野の内容で、まさに宇都宮再発見だった。もっと宇都宮について詳しく知りたいと思った。
- ・5つのテーマから様々な魅力を発見でき、他市町村に住んでいる人に自慢できると講座を受講して感じた。宇都宮市を多方面からより知りたいと思った。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

【II 今を読み解く現代社会コース】

② 7つのテーマで教養を高める

～より賢く快適に暮らしていくために～

【開催期間】

11月1日～12月13日（全7回）

講師

帝京大学工学部機械・精密システム工学科	教授	加藤 彰 氏
帝京大学工学部情報科学科	准教授	小林 靖之 氏
帝京大学工学部バイオサイエンス学科	准教授	宮本 皓司 氏
帝京大学リベラルアーツセンター	教授	清水 浩 氏
帝京大学経済学部地域経済学科	准教授	宋 宇 氏
帝京大学工学部航空宇宙工学科	特任教授	橋本 敬三 氏
帝京大学医療技術学部柔道整復学科	教授	櫻井 庄二 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	59名	0.74倍	54名	46名（85%）	93%

感想

- ・内容は専門的であったが、電気自動車や骨の基礎知識などの新しい学びが多く有意義な講座だった。
- ・発達障害の理解や宇宙、将来の技術の発など、多岐にわたる講座内容に満足した。限られた時間での講義で楽しく受講することができた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

③山本鼎から川上澄生、そして現在の創作版画まで
～創作版画の楽しさって何？～

【開催期間】

10月21日～12月9日（全6回）

講師

宇都宮美術館学芸課 課長 伊藤 伸子
鹿沼市立川上澄生美術館 前館長 青木 理

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
50名	24名	0.48倍	22名	21名（96%）	94%

感想

- ・毎回、版画家の人生に共感できたり、版画に対する感動や発見がありとてもよかった。また、最後の回の実習で実際に摺り体験できて楽しい講座内容だと思った。
- ・全6回の講座を通して版画の楽しさや魅力を知ることができた。また版画をテーマに講座をやってほしい。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ともしび」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

④ 仏教美術入門

～仏像・建築・庭園～

【開催期間】

10月29日～12月3日（全6回）

講師

文星芸術大学美術学部	教授	大澤	慶子	氏
日本庭園学会	前会長	大澤	伸啓	氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	137名	1.71倍	88名	84名（96%）	98%

感想

- ・ 仏教美術全般についての歴史の経過を追いながら、分かりやすい説明と解説で学べてよかった。また、館外学習で実際に仏像の拝観方法を解説していただき参考になった。
- ・ 仏像の歴史やお寺の造りに関して知識を深めることができた。京都や奈良だけでなく、栃木県内でも、由緒ある建造物が多々あることが分かり、身近な所から訪ねてみたいと思った。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑤幕末維新と志士のかたち「歴史の激動期」
～先人たちは、何を選択し、何を残したのか？～

【開催期間】

10月24日～12月12日（全8回）

講師

茨城県立歴史館学芸課	課長	由波	俊幸
群馬県立世界遺産センター	研究員	佐藤	有
栃木県立博物館人文課	課長	飯塚	真史
福島県立博物館学芸課	主任学芸員	栗原	祐斗

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	125名	1.56倍	87名	81名（93%）	97%

感想

- ・隣接した4県の幕末維新の詳細が分かり、大変有意義な内容であった。4県それぞれの視点で幕末維新の1つの事象の捉え方に違いがあると分かり、面白かった。
- ・近県を含めた江戸末期の状況を解説していただき参考になった。また、講後に関連図書を読むことで自分の地域でも維新の影響があったことを知ることができた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑥ 宇宙を探るよもやま話

～地球の周りの近宇宙、太陽系、銀河を含む大宇宙の話～

【開催期間】

10月19日～11月16日（全5回）

講師

帝京大学 名誉教授 飽本 一裕

帝京大学理工学部航空宇宙工学科 准教授 河村 政昭

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
50名	57名	1.14倍	48名	45名（96%）	94%

感想

- ・ 講座前は宇宙に関する知識が乏しかったが、講義を受ける中で、自分でも調べてみたい事が出てきて、毎回ワクワクした気持ちで受講することができた。
- ・ 筑波宇宙センターは個人ではなかなか行にくい施設だったので、館外学習として行くことができ良かった。実際のツアーや展示物の鑑賞を通して宇宙に少し興味が湧いてきた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

専門講座の実績

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
講座数	12講座	12講座	12講座
受講者数	703人	677人	596人
修了者数	634人	526人	541人
修了率※	91.0%	91.6%	93.3%
定員の上限	80人	60人	50人
備考	・館外学習を積極的に導入し、12講座のうち4講座で実施	・令和4年度Vスタッフ養成講座修了生に事務局企画枠を提供 ・宇都宮メディア・アーツ専門学校と連携し「録画配信コース」を導入	・前年度に申込み多数の講座を「リクエスト講座」として実施

※ 令和5年度：修了の規定のない「柳田邦男氏講演会」と「録画配信コース」の受講者数を除いて算出

総合的な評価

専門講座については、定員の増員により前年度よりも受講者数が増え、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

また、ワークショップや館外学習を取り入れたことで、受講者から高い満足度を得ることができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

1. 実施概要

日時：令和7年3月2日（日）13時30分～15時00分

会場：文化会館小ホール

講師：榎本 遼香氏（水泳・飛込競技 日本代表）

講座名：宇都宮から世界の舞台へ ～オリンピックを経て未来へはばたく～

受講料：1,000円（19歳以下は無料）

2. 申込状況等

申込者数：126名（うち受講経験なし：66名，52.3%）

受講者数：119名 10代以下：23名，18.2%）

3 講座の様子

- ・オリンピックとしては遅咲きと語る榎本選手が、飛込競技を始めたきっかけから、オリンピック出場に至るまでの経緯を語る内容となった。
- ・飛込競技の演技5種類について、本人の大会映像などを流しながら説明し、採点の基準についても分かりやすく解説をいただいた。
- ・質疑応答では、時間内に回答しきれないほど多くの質問が出されたが、その一つ一つに丁寧に回答していただいたため、受講者の満足度も高い講座となった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

4. 受講者の感想・意見（抜粋）

- ・とてもタメになった。自分自身が他の誰よりもメンタルが弱いと断言できるくらい色々なことをネガティブに捉える癖があり、試合でも練習の5割も発揮できないということがあった。そんな自分を変えたいと今回の講演に望ませていただき、榎本さんの経験談を聞いてとても励まされた。
- ・榎本選手の達観した物事の考え方とお人柄がとても好きになった。今日をきっかけに記録する事、可視化する事、素直でいる事を心にとどめて生活したい。

総合的な評価

オリンピック開催年である令和6年度に活躍にした講師の起用により、幅広い年代層から申込みがあり、新規受講者の獲得や宇都宮市民大学の周知につながった。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

【参考】 講座写真



2 報告事項

(2) 令和6年度宇都宮市民大学収支決算について

- (2) 令和6年度宇都宮市民大学収支決算については別紙をご参照ください。

参照先

- ・ 別紙1 令和6年度 決算書

2 協議事項

(2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

1. 令和7年度事業の考え方

本市の社会教育分野において最も基本となる計画である「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、市民のスキルアップやキャリアアップに生かせる、高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、「人材かがやきセンター主催講座」や「生涯学習センター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の学ぶ意欲を高め、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に取り組む。

令和7年度については、令和6年度の実施状況や課題などを踏まえ、以下の点に取り組む。

● 専門講座の定員の引上げ

より多くの市民に受講機会を提供するため、抽選の結果落選となる応募者が極力少なくなるよう、定員の上限を90名に引き上げる。

● オンライン配信導入の検討

時間や場所の制約を受けずに参加・利用できるというデジタルを活用することの利点を生かした学習環境づくりに取り組む。

2 協議事項

(2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和7年度宇都宮市民大学前期講座について

1. 実施概要

開催期間：令和7年5月19日（月）～7月10日（木）

会場：人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階） ほか

募集期間：令和7年4月1日（火）～15日（火）

講座コース・専門講座名（開講数）	講師	定員
I 宇都宮空襲	元宇都宮市文化財保護委員会 委員長 大嶽 浩良 氏	90人
I フランク・ロイド・ライトが拓いた大谷石 ～大谷石はなぜ有名になったのか～	文星芸術大学 非常勤講師 橋本 優子 氏	90人
II 今を、これからを生きる私の「礎」 ～「経験」から学ぶ「自分らしさ」のを見つけ方～	済生会宇都宮病院 公認心理士 目加田 敏浩 氏 ほか	70人
II 逃げ地図作り ～災害から命を守る～	宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 近藤 伸也 氏 ほか	50人
III 下野の民衆（農民・工人・商人）は江戸時代をどのように生きたのか？ ～徳川家康によってつくられた幕藩体制下、一般民衆の生活は～	筑波大学 人文社会系 准教授 山澤 学 氏 ほか	90人
III 「食・健・音」で人生の過ごし方をより豊かに ～日々の暮らしを豊かにするために～【宇都宮短期大学連携講座】	宇都宮短期大学食物栄養学科 教授 松田 千鶴 氏 ほか	90人
		480人

2 協議事項

(2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和7年度宇都宮市民大学後期講座について

1. 実施概要

開催期間：令和7年10月～12月

会場：人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階） ほか

募集期間：令和7年9月1日（月）～16日（火）

講座コース	専門講座名
I 郷土を愛する「宇都宮学」コース	歴史に見る鬼怒川
II 今を読み解く現代社会コース	人類の近未来
III 暮らしを彩る文化・教養コース	仏像の歴史
III 暮らしを彩る文化・教養コース	大和朝廷
III 暮らしを彩る文化・教養コース 【事務局企画枠講座】	浮世絵
【宇都宮大学連携講座】（コース未定）	（未定）

2 協議事項

(2) 協議事項 令和7年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

令和7年度公開講座実施（案）

多くの市民に学習機会を提供することにより、受講者の学習意欲の高揚を図るとともに、市民大学の更なる周知による認知度の向上と市民の受講促進を図る。

実施時期

令和8年2月頃（令和7年度宇都宮市民大学後期専門講座閉講後）

会場

ライトキューブ宇都宮中ホール等

講師

各分野の第一人者（著名人等）

受講料

1,000円程度

※詳細については、令和7年度8月開催予定の第2回運営協議会で協議する。

2 協議事項

(2) 令和7年度宇都宮市民大学収支予算（案）について

- (2) 令和7年度宇都宮市民大学収支予算（案）については別紙をご参照ください。

参照先

- ・ 別紙2 令和7年度 予算書

4 閉会

【連絡事項】

- (1) 次回の会議日程について
(令和7年8月頃 開催予定)

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【1 郷土を愛する宇都宮学コース】

- ① どうする宇都宮氏？生き残りをかけた天下人との交流
～戦国の城郭都市多気の成立と終焉～

【開催期間】

5月20日～7月8日（全8回）

講師

宇都宮短期大学人間福祉学科 教授 江田 郁夫 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	140名	1.75倍	85名	75名（88%）	99%

感想

- ・昔からお参りしていた多気山に戦国時代末に城郭都市が作られたこと、実際に5年間機能していたことを初めて知り、ワクワクして聞いた。
- ・多気城についてはただの山城との認識だったが、鹿沼市博物館企画展や今回の講座であらためて多気城の価値がわかった。
- ・全国的には些細な出来事かもしれないが、多気での築城は本県にとって重要なこと。知ることによって県民としての誇りにつながると思った。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「七福人」企画講座

- 【1 郷土を愛する宇都宮学コース】
② 「JAZZ」に寄り添う
～宇都宮ジャズ史をたどろう～

【開催期間】
5月28日～7月9日（全7回）

講師等

うつのみやジャズのまち委員会	会長	吉原 郷之典 氏
うつのみやジャズのまち委員会	企画委員会委員	武井 貴志 氏
うつのみやジャズのまち委員会	企画委員会副委員長	川島 育郎 氏
うつのみや市民ジャズオーケストラ		
ジャズのまちカルテット		

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	66名	0.83倍	65名	59名（91%）	92%

感想

- ・宇都宮のジャズの発祥を聴き、宇都宮がなぜ、ジャズの街なのか分かってよかった。
- ・型にはまらない音楽の楽しみ方を体感した。
- ・大谷コネクトで大谷石の音の響きを体感しながら演奏を聴くことができた

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

宇都宮共和大学連携講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

- ③ 6つのヒントから人生の過ごし方を考える
～魅力ある宇都宮で豊かに暮らすために～

【開催期間】

6月7日～7月12日（全6回）

講師

宇都宮共和大学子ども生活学部	准教授	新井	祐子	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	教授	田上	富男	氏
宇都宮共和大学子ども生活学部	専任講師	霜触	智紀	氏
宇都宮共和大学子ども生活学部	教授	月橋	春美	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	専任講師	永井	紹裕	氏
宇都宮共和大学シティライフ学部	専任講師	三浦	魁斗	氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
80名	26名	0.33倍	24名	19名（79%）	94%

感想

- ・「裁判員制度」をもっと詳しく深く学びたい。成人の誰もが関係するであろう制度ですが、内容が十分理解されていないと思います。
- ・新井祐子先生のピアノを取り入れた内容がとてもよかったです。
- ・知らないことが多々あるので、講座で気づくことがあり、興味もわきます。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「長谷川浩美」企画講座

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース】

④ ヤングケアラーの生活・思い・その後の人生のこと ～より良い支援のために～

【開催期間】

5月25日～6月22日（全6回）

講師

栃木県ケアラー支援推進協議会 委員 仲田 海人 氏
元ヤングケアラー

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
40名	12名	0.30倍	12名	10名（83%）	100%

感想

- ・ヤングケアラーについて正しく知ることができた。一般的に使われている言葉に誤りがあることも分かった。
- ・自分の経験を生かし、活動したいと思った。
- ・ヤングケアラー（特にきょうだい）という言葉の意味が理解できた気がします。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「宙」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑤ 柳田國男の栃木旅

～ルーツ探しから得た民俗学への道～

【開催期間】

5月21日～7月2日（全7回）

講師

栃木県立博物館

名誉学芸員

柏村 祐司 氏

利根町文化財保護審議会

委員長

古田 吉光 氏

募集定員

応募者数

応募倍率

受講者数

修了者数（修了率）

満足度

80名

103名

1.29倍

86名

76名（88%）

95%

感想

- ・ 柳田國男の遠野物語に興味があったが、生い立ちや人生に郷里の人々や栃木という土地がどのように関わりをもっていたのか、色々な視点から見る事ができた。
- ・ 柳田國男をより身近に感じるようになった。
- ・ 日本文化の奥深さを知ることができた。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

講座企画・運営ボランティアスタッフ「ジャンプ」企画講座

【Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース】

⑥俳句づくり超入門

～俳句で街を活性化、俳句を楽しみ元気に生きよう～

【開催期間】

5月24日～7月5日（全7回）

講師

一般社団法人 日本俳句協会 理事長 五島 高資 氏
俳句仲間「北の会」 代表 五十嵐 藤重 氏

募集定員	応募者数	応募倍率	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
50名	58名	1.16倍	54名	50名（93%）	96%

感想

- ・初心者にも分かりやすく楽しい講座だった。芭蕉についての理解も深まった。本県ゆかりの平畑静塔のことを詳しく学べたのも収穫だった。
- ・感性を研ぐことに気付く良い機会だった。
- ・俳句に関する多くのことを教えていただき知識が少し増えた。吟行が楽しかった。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

前期講座の実績（5月20日～7月12日）

	募集定員	応募者数	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
R6前期	410名	405名	326名	289名（89.9%）	96%
R5前期	340名	287名	282名	262名（92.9%）	97%
対前年度	+70名	+118名	+44名	+21名（△3.0%）	△1%

総合的な評価

募集定員の上限を60名から80名へ引き上げたが、6講座中3講座で定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り受講決定することで、昨年度前期と比較すると受講者数は増加しており、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。

2 報告事項

(1) 報告事項 令和6年度宇都宮市民大学事業報告について

参考

● 後期講座の実績（10月19日～12月13日）

	募集定員	応募者数	受講者数	修了者数（修了率）	満足度
R6後期	420名	481名	377名	345名（92.0%）	94%
R5後期	460名	466名	395名	264名（90.4%）	97%
対前年度	△40名	+15名	△22名	+81名（△3.0%）	△3%

※ 令和5後期修了者数：修了の規定のない「柳田邦男氏講演会」と「録画配信コース」の受講者数を除いて算出

総合的な評価

募集定員の上限を60名から80名へ引き上げたが、6講座中3講座で定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り受講決定することで、昨年度後期と比較すると修了者数は増加しており、より多くの市民に学習機会を提供することができた。

アンケートでは、**学んだ成果と講座の満足度に関する肯定的な回答がともに全体の9割を超えており**、高度で専門的な学習機会を提供する講座内容であったものと推察される。

今後の取組方針

受講者の高い満足度を維持できるよう、引き続き、受講者アンケートの結果などを踏まえ、講座内容の充実に努めていく。